

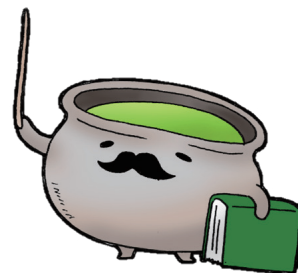
としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066

(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(大江分館) TEL・FAX 56-1017

たけ はな み 竹の花を見たことがありますか？

ちやいろ か み たけ み ちか
茶色く枯れたように見える竹やぶを見かけました。近づいてみると
はな さ あと にほん たけ はな さ めずら
花が咲いた跡がありました。日本の竹の花が咲くのはとても珍しく、
マダケでは120年に一度、今回見たハチクでも同じくらいと考えら
れていますが、くわ しいことはまだよくわかっていないそうです。



はな さ たけ か
花が咲いたあとの竹は枯れてしまいます。竹の花にはカラフル
はな はな かべん
な花びら(花弁)はなく、イネの花に似ています。

さんこう ほん ◆ 参考にした本 ◆

だいけんきゅう
『タケの大研究』
うちむら えつぞう ちよ ビーエイチビーけんきゅうじょ
内村 悦三／著 PHP 研究所
しよくぶつ
『植物のふしぎ』
はぎわら しんすけ かんしゅう ビーエイチビーけんきゅうじょ
萩原 信介／監修 PHP 研究所

えほん
『タケの絵本』うちむら えつぞう／へん、
いいい きよたか／え のうさんぎょそんぶん かきようかい
『自然の材料と昔の道具 1: 竹でつくる』
ふかみつ ふじお ちよ さ・え・ら書房
深光 富士男／著

どくしよしゅうかん 読書週間 2025

がっ にち がっ にち どくしよしゅうかん
10月27日から11月9日は読書週間です

2025・第79回 読書週間
10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。





こんかい
今回のテーマ

ふ し ぎ せ か い 不思議な世界をのぞいてみよう

あなたのそばにもあるかもしれない



『アーチエと魔法の書』

(はせがわ まりる／作, 松井 あやか／絵 静山社)

どこの町にもあるような小さな本屋に、魔法使いたちが訪れる。店の奥には、この世に一冊しかない〈魔法の書〉が保管されていて、本屋の娘アーチエは、それを守る一族。13歳の誕生日の夜、アーチエの、そして魔法界の運命が回り始める。

『あなたの知らない』

しんわ せかい い もの 神話世界の生き物』

(まつむら かずお／日本語版監修, 熊谷 小百合, すみ はるな／訳 世界文化社)



ずっと昔から、人は不思議な生き物を空想してきました。そんな生き物たちが、色鮮やかな絵画や美術品

とともに詳しく紹介されています。マンガやゲーム、アニメや映画で見たことのある生き物もきつというはず。読めば、ファンタジーがもっとおもしろくなる！

『やまの動物病院』

(なかがわ ちひろ／作・絵 徳間書店)

「まちの動物病院」は夜になると、「やまの動物病院」にかわります。夜のお医者さんは、病院でくらし



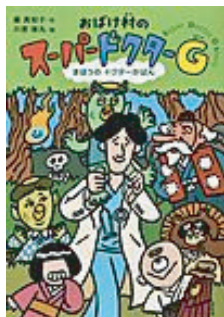
ているねこのとらまる。山からやってくる動物たちをしんさつします。

でも、まちの動物病院の先生は、夜の病院で何が起きているか知りません。今日もとらまるは、じっと先生の仕事をしています。

じ どう ほん 児童おすすめの本



『おばけ村のスーパードクターG』



ふじ まち こ さく かわはら みずまる え しゃ
(藤 真知子／作, 川原 瑞丸／絵 ポプラ社)

ひっくり返って鼻をけがした天狗の村長。川で気を失ったカッパの男の子。つぎつぎに病院にやってくる、おばけたちの困りごとには、意外な原因が…

新米ドクターのゴーさんが、ゆかいなおばけたちと一緒に活躍します。

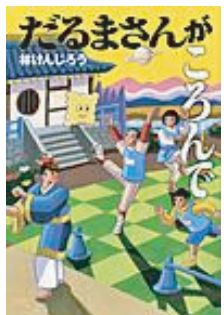
『ハロウィーンまで、まってなさい』



さく こみや ゆう やく ひらさわ ともこ え いわなみしよてん
(ミリアム・ヤング／作, 小宮 由／訳, 平澤 朋子／絵 岩波書店)

おもちゃ屋さんに売られていた魔女のモビール。「ハロウィーンまでまってなさい」とつぶやきます。ハロウィーンの夜、自分たちにいじわるをしたお客をこらしめに、おもちゃ屋を飛び出す魔女たち。さて、どんなことが起きるのでしょうか？

『だるまさんがころんで』



はやし さく いわさきしよてん
(林 けんじろう／作 岩崎書店)

じっとしてられない性格の小学6年生のカン太。ある日、達磨寺に行き、ふとどきな心で願ったことで、謎の存在〈タイシ〉に崇られてしまった！それがもとで、達磨寺で開かれる、全国だるまさんがころんだ選手権大会(通称「だるころ」)に参加することに。個性的なメンバーとともに優勝をめざす！

『おそろし！妖怪絵巻』



へん たがわ ひでき え ぶんけいどう
(グループ・コロンブス／編, 田川 秀樹／絵 文溪堂)

日本全国47都道府県の妖怪や、おそろしい妖怪、ユニークな妖怪が登場する妖怪さがし絵の本。鬼や妖怪が、夜中に列をなし練り歩く「百鬼夜行絵巻」などの絵の中にひそむ鬼や妖怪、化け物を、あなたはいくつ見つけることができるかな。

ティーンズ ^{ほん}おすすめの本



『5分後にエモい古典文学』



のづき ちょ しゅつばん
(野月 よひら／著 スターツ出版)

せんねんいじょうまえ ひと いま わたし おな な わら だれ
千年以上前の人たちも、今の私たちと同じように泣いたり、笑ったり、誰
かを推したりしている。歌に託した想い、物語や随筆につづった心。「伊勢
物語」「万葉集」「徒然草」などの古典からエモいエピソードを抜き出し、現代
の青春恋愛に置き換えた超短編集。

『ビスケット』



ちょ やじま あきこ やく あすかしんしゃ
(キム ソンミ／著 矢島 暁子／訳 飛鳥新社)

この世には、自分の存在感を失い、他人から見えなくなる「ビスケット」が
いる。過敏な耳を持つ少年ジェソンは、音で彼らを見つけたことができた。
ある日、ビスケットからのSOSを聞き、同級生のドクワン、ヒョジンと一緒に
救出作戦を実行するが…

『クマはなぜ人里に出てきたのか』



ながはた よしゆき ぶん しゃしん じゅんぼうしゃ
(永幡 嘉之／文・写真 旬報社)

きんねん もくげき しょくがい じんしん じ こ おお ほうどう
近年、ツキノワグマの目撃、食害、人身事故のニュースが多く報道され
ている。かつてクマは人を恐れ、人里でもあまり見かけなかった。今、クマ
を取り巻く環境に何が起きているのだろうか？

クマの生態や出没の事例をもとに、自然写真家が解き明かしていく。

『中学生からの絵本のトリセツ』



かわぐち ちょ いわなみしよてん
(川口 かおる／著 岩波書店)

「絵本」は小さい子どもが読むもの—いいえ、決してそうではありません。
このトリセツでは、「アート」として楽しむ、悩んだり迷ったりした時の「心の
栄養剤」として取り入れるなど、著者の実体験に触れながら絵本の新たな魅力
について紹介します。